

だて市政だより 災害対策号

【第50号】

平成24年3月1日発行

■ICRP（国際放射線防護委員会）

2月25日、26日の2日間にわたって、ICRPの第2回ダイアログセミナーが伊達市で開催されました。

ICRPは、医学でX線などの放射線が使われるようになって健康被害が懸念されたことから1928年に設立され、現在は放射線の防護に関する基準を勧告することなどを目的としている国際学術団体です。ICRPは日本に対する2007年の勧告で、年間被ばく量を平常時は1ミリシーベルト未満、緊急時には20～100ミリシーベルト、緊急事故後の復旧期には1～20ミリシーベルトとしています。これに基づいて、今回の福島原発事故に対し、国は年間20ミリシーベルトを避難の基準とし、長期的には1ミリシーベルトを目指すとしています。

このダイアログセミナーは、ICRPが福島支援のために、原発事故による長期の放射能汚染の下で生活回復を目指す方策を見つける事を目的として行うもので、第1回セミナーは昨年11月に福島県庁で行われております。ダイアログとは対話という意味で、いろいろな立場での報告や意見などを基に参加者の自由な意見交換を通し、解決策を見出すというものです。なぜ、伊達市で開催されるのかというと、伊達市が除染や健康管理など、放射能対策について先行していることが評価されているからです。

伊達市からは私をはじめ、放射線量の高い小国地区などの住民や果樹農家、米農家、学校、医師の代表、JA関係者など10人近い人が取り組み状況などを発表し、フランス、ベラルーシ、ノルウェーなどのICRP委員、国内の原子力学者、大学教授、ボランティア団体、国、県などと同時通訳を通して意見交換を行いました。

私は、伊達市の取り組みについて話しをしましたが、子どもを持つ若い親などの放射能への不安に対して国も取り組むべきであること、各省庁の縦割りではなく国として総合的な取り組みの必要性、現場である我々市町村の意見を聞くこと、予算などをもっと使いやすいものにして欲しいことなどを話しました。本市のアドバイザーである田中俊一先生も専門家として、政府の対応についてかなり厳しい意見を言われておりました。

2日間、朝から夕方までびっしりの議論を通して、改めてチェルノブイリの25年の取り組みを参考にすべきこと、ノルウェーの方がチェルノブイリよりも現在の我々に近い状況にあったことなどが分かり、大変有益であったと思います。

最後に、セミナー全体の討論を行ない、①住民への情報提供が重要 ②子どもの健康を優先させる ③誰でも線量測定や食品分析ができる体制の構築 ④地域ごとに行っている対応策の成果を持ち寄り役立てる、など国や県に提出する提言をまとめました。今後も、住民との対話を継続していくことを確認してセミナーを閉じました。

ICRPの外国の委員から伊達市に対して大きなエールを頂きましたので、その期待に応えて頑張っていきたいと思います。

伊達市長 仁志田 昇司

■市内各地域の放射線測定結果

放射線測定値（市測定、★印は県測定）				[単位：マイクロシーベルト/時間]			
測定地点	2/27	2/24	2/22	測定地点	2/27	2/24	2/22
伊達総合支所 正面駐車場	0.34	0.43	0.44	八木平バス停留所 回転場中央	0.71	0.84	0.81
梁川総合支所 正面銅像前	0.30	0.35	0.36	小国ふれあいセンター 駐車場★	1.12	1.27	1.28
保原本庁舎 正面駐車場	0.41	0.49	0.50	下小国中央集会所 入口★	0.71	0.86	0.87
富成郵便局 県道路肩	0.74	0.83	0.76	岩代小国郵便局 国道路肩	0.69	0.90	0.86
富成沼田地区石名坂 屯所入口県道路肩	1.15	1.44	1.41	末坂バス停留所 県道路肩	1.11	1.52	1.36
富成グリーンタウン タウン内公園	1.20	1.54	1.55	大木バス停留所 県道路肩	0.58	0.68	0.64
富成十区集会所 入口	1.24	1.50	1.26	月館総合支所 駐車場	0.42	0.49	0.50
霊山総合支所 駐車場	0.63	0.72	0.69	国道399号飯館村境 国道路肩	0.82	1.04	1.00
霊山パーキング 駐車場中央★	1.10	1.34	1.29	月館相葺公民館 県道路肩★	1.41	1.66	1.65
坂ノ上集会所 入口	0.73	0.84	0.79	市民生活部 環境防災課 ☎575-1228			

■自家用農産物のモニタリング調査結果

市で行っている自家消費農産物のモニタリング検査結果（2月17日～2月23日）をお知らせします。測定結果は、放射性物質を簡易測定した数値ですので、出荷や販売等の目安となる数値ではありません。

[単位：ベクレル/kg]

産地	測定品目	測定件数	放射性セシウム		産地	測定品目	測定件数	放射性セシウム				
			最小値	最大値				最小値	最大値			
伊達	伊達	米（玄米）	4	検出せず	7.8	保原	ダイコン	1	検出せず	検出せず		
		ネギ	1	17.6	17.6		カボチャ	1	検出せず	検出せず		
		ダイコン	1	検出せず	検出せず		キャベツ	1	検出せず	検出せず		
		ジャガイモ	1	6.8	6.8		フキノトウ	1	検出せず	検出せず		
	箱崎	ネギ	1	22.4	22.4		葉ネギ	1	検出せず	検出せず		
梁川	粟野	米（精米）	1	検出せず	検出せず		保原	ハクサイ	2	検出せず	検出せず	
		米（玄米）	1	6.0	6.0			タマネギ	1	検出せず	検出せず	
		ダイズ	1	16.0	16.0			ジャガイモ	2	検出せず	検出せず	
	二野袋	ダイコン	1	検出せず	検出せず			カオリマメ	1	15.4	15.4	
		ハクサイ	1	検出せず	検出せず			掛田	キウイフルーツ	1	358.3	358.3
	ハウレンソウ	1	検出せず	検出せず	ハクサイ				1	検出せず	検出せず	
	大関	米（精米）	1	4.0	4.0			山野川	米（精米）	1	6.0	6.0
		米（精米）	1	4.0	4.0				ハクサイ	1	検出せず	検出せず
	新田	もち米	1	検出せず	検出せず				ダイズ	1	24.9	24.9
		アサツキ	1	8.0	8.0	大石			米（精米）	1	12.1	12.1
	白根	アサツキ	1	8.0	8.0	中川		ダイズ	1	23.5	23.5	
		山舟生	干柿	1	56.0	56.0		霊山	もち米	1	検出せず	検出せず
	五十沢	米（精米）	2	検出せず	4.0	山戸田			アサツキ	1	検出せず	検出せず
		カリン	1	45.0	45.0				タマネギ	1	検出せず	検出せず
ジャガイモ		1	4.0	4.0	シロササギ		1		79.2	79.2		
上保原	米（玄米）	2	38.0	99.1	下小国		米（精米）		1	43.5	43.5	
	ハウレンソウ	1	検出せず	検出せず			ダイコン	1	検出せず	検出せず		
	ダイコン	1	検出せず	検出せず		ハクサイ	1	検出せず	検出せず			
	ハクサイ	1	検出せず	検出せず		アオダイズ	1	検出せず	検出せず			
	カボチャ	1	検出せず	検出せず		月舘	米（精米）	1	検出せず	検出せず		
大柳	ダイコン	1	検出せず	検出せず	タラノメ		1	検出せず	検出せず			
	ハクサイ	1	検出せず	検出せず	米（精米）		2	検出せず	6.2			
	富沢	米（精米）	3	検出せず	15.9		イチゴ	1	検出せず	検出せず		
柱田	米（精米）	1	検出せず	検出せず	糠田		米（精米）	1	検出せず	検出せず		
	米（玄米）	1	検出せず	検出せず			米（玄米）	1	検出せず	検出せず		
	ダイコン	1	検出せず	検出せず			干柿	1	104.1	104.1		
	ダイズ	1	82.4	82.4			上手渡	もち米	1	16.6	16.6	
所沢	ダイコン	1	検出せず	検出せず	下手渡		アズキ	1	55.6	55.6		
金原田	ハナマメ	1	検出せず	検出せず	市外		米（精米）	2	検出せず	2.1		
	ダイズ	1	30.6	30.6		米（玄米）	1	検出せず	検出せず			
保原	米（精米）	2	検出せず	31.1		ヨモギ	1	検出せず	検出せず			
	米（玄米）	2	検出せず	12.2		干柿	1	280.8	280.8			

【食品衛生法の暫定規制値】セシウム：セシウム134と137の合計で500ベクレル/kg

【簡易分析器について】施設によって分析器の機種が異なり、機種によって検出下限値（検出可能な最小の量）が異なります。

【表記について】「検出せず」は、セシウム含有量を検出できる数値以下だったことを示します。

問 産業部 農林課 ☎577-3173

■伊達市産農産物のモニタリング調査結果

県で行っている伊達市農産物のモニタリング検査結果（2月19日～25日）をお知らせします。下記以外については、災害対策号第20～48号でお知らせした内容となります。

[単位:ベクレル/kg]

品目	採取日	ヨウ素	セシウム		
			134	137	
農産物	ダイズ	2/21	検出せず (<14)	210	280
畜産	鶏卵	2/23	検出せず (<8.0)	検出せず (<10)	検出せず (8.4)

【表記について】

「検出せず (<検出下限)」と表記されている項目は、放射性物質が検出されなかったことを示します。なお、検出下限値（検出可能な最小の量）は、測定試料（重量、密度、容積など）の影響を受けるため、1測定ごとに異なります。また、実際の測定値を表すものではありません。

☎ 産業部 農林課 ☎577-3173

■加工食品の放射性物質自主検査について

県では、加工食品の出荷者に対して、放射性物質の自主検査を行い暫定規制値以下であることを確認してから出荷するようお願いしています。

次に該当する食品を加工している人は、出荷前に放射性物質の検査をしてください。

【出荷前の自主検査をお願いする食品】

- ① 福島県産の農林水産物を原材料とする加工食品で、乾燥・脱水・加熱などの製造工程があり、原材料の放射性物質が濃縮される可能性がある食品
- ② 製造工程のなかに、屋外での乾燥工程がある加工食品
- ③ 稻わら・笹葉・柏葉などを容器包装として使用する食品

【お近くの検査機関】

検査機関	所在地、電話番号	
(株) 環境分析研究所	福島市東浜町22-2	☎535-0183
(財) 福島県保健衛生協会	福島市方木田水戸内19-6	☎546-0561

☎ 福島県 食品生活衛生課 ☎521-7242、福島県 農産物流通課 ☎521-7356

■果樹の剪定枝の一時保管について

果樹を剪定した枝については、野焼きは控え、ほ場内に一時保管するようお願いいたします。

☎ 伊達みらい農業協同組合 指導販売課 ☎575-0112

■飼料の暫定許容値見直しに伴う利用自粛について

県では、牛用飼料の暫定許容値が「100ベクレル/kg」へ引き下げられたことに伴い、モニタリング検査において「100ベクレル/kg」を超えた地域で生産された飼料作物について、牛への利用自粛をお願いしています。

市内では、旧掛田町地域が該当していますので、利用の自粛をお願いいたします。

【利用自粛の地域と飼料作物】

該当地域	飼料作物
旧掛田町	平成23年産稻わら

☎ 福島県 畜産課 ☎521-7364

■ 損壊住家の解体申込は3月9日まで

震災で損壊した住家の解体処理代行の受け付けを3月9日で終了します。

り災証明書で、「半壊」「大規模半壊」「全壊」の判定が出ている住家の取り壊しを希望する場合は、期限までに環境防災課にお申し込みください。

●申込期限 平成24年3月9日（金）

※非住家（蔵・物置など）の解体申込の受け付けは、すでに終了しています。

☎市民生活部 環境防災課 ☎575-1228

■ 井戸水のモニタリング検査結果

次の地点の井戸水からは、放射性ヨウ素・セシウムは検出されておられません。

測定地点	※カッコ内は採取日
伊達	—
梁川	山舟生字中ノ内、白根字小野作、東大枝字住吉（2/22）
保原	金原田字中屋敷、所沢字関畑、大柳字向山（2/21）、保原町字西ノ内（2/22）
霊山	石田字東、石田字大平（2/21）、石田字中山（2/22）
月館	糠田字宮前（2/22）

※検出下限値（検出可能な最小の量）は、1ベクレル/kg未満です。

☎市民生活部 環境防災課 ☎575-1228

■ 除染作業に伴う洗浄水などについて

除染作業に伴う洗浄水・土砂などの下水道施設への混入を防ぐために、ご協力をお願いします。

【お願い】

- ① 除染の洗浄水は、宅地内の汚水ますに流さないでください。
- ② 土砂・刈り草・剪定した枝葉・枯葉などの廃棄物を、下水道に捨てないでください。
- ③ 中に落ちることがあり大変危険ですので、公共ますやマンホールなどのふたは開けないでください。

☎県北流域下水道建設事務所 ☎554-2011、上下水道部下水道課 ☎577-3162

■ 震災犠牲者の冥福を祈り 黙とうを

3月11日で東日本大震災の発生から1年が経過します。亡くなられた方々の慰霊を行うため、さまざまな地域で黙とうが行われます。

市民の皆さんも一緒に黙とうを捧げ、犠牲者の冥福を祈りましょう。

●日時 平成24年3月11日（日） 14時46分

●時間 1分間の黙とう

伊達市災害対策本部（保原本庁舎3階）☎575-1003